

〔曲名〕 Un Giorno Venezia

ヴェニス的一天

〔曲種〕

〔作曲者〕 Ethelbert Nevin

エセルバート ネヴィン

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者ネヴィンは1862年アメリカに生まれ、1901年38才で逝いた著名なアメリカの作曲家。

ボストンでピアノをラングに、作曲をアムリーに学んでから、ベルリンに行き、ビューローについた。

一度アメリカの帰り数年教職についたが、1892年再びパリ、ベルリン、フローレンス、ヴェニスに赴き、教授と勉強と作曲に日を送った。

本曲はこの時の印象であろう。

彼の作品の殆どは歌曲とピアノ曲で、いずれも美しい抒情に充ち、時に感傷に過ぎると云われるものもある。

内向性の美しい表情、優しいムードと愛情、これらが凡ての作品に溢れている。

本曲は死の3年前に出版せられたピアノ曲で作品25番のもの、4つの楽章に分かれている。

各楽章には美しい詩と挿画が添えられてある。

I Alba 夜明け

……人間はローマを建設したが

神の造化よヴェニス…… (サンナヴァル)

……蒼く輝く一面の空と海

柔い黎明のそよ風は我に囁 (ささや) く…… (サルストリ)

II Gondolieri ゴンドラ漕手たち

……青空のもと

円柱、塔、円屋根、尖塔は火のオベリスクの如き輝き、
海の育て子ヴェニスは此処に横たわる……（シェレー）

……月はほこらかにほゝえみ西風はそよ吹く
水面をすべる美しきゴンドラ……（グレー）

III Canzone Amorosa 愛の唄

男 静かな水面をすべるゴンドラのさざ波に舟人の唄きこゆる

女 碧き流れは愛をつたう とこしえに

男 瑠璃色の空は 愛の星空 浮き城に 都ヴェニス 我を誘う

女 我が唄

男 愛の （スティーヴンソン）

IV Buona Notte おやすみ

……小舟はさざ波に揺られ、海の上に白き月は眠る ヴェニスはエメラルドの帯となって横たわり
夜の風はそのマーブルの王冠の上に吐息をもらす……（アンヌ・ケムブル）

マンドリン古典合奏曲集28集より